

松本秀峰 オーケストラ部

30日

定演へ練習ひた向き



本番に向けて真剣な表情で練習する
部員ら＝松本秀峰中等教育学校で

松本市埋橋の松本秀峰中等教育学校のオーケストラ部が、三十日に市音楽文化ホールで開く定期演奏会を前に練習に励んでいる。部員は発足した四年前より五倍近く増えたが、ほとんどが初心者。一人一人が音楽へのひた向きの思いを演奏に込める。(北村希)

三回目の今回は、「運命」で知られるベートーベンの「交響曲第五番」やモーツァルトの「フィガロの結婚序曲」など七曲を演奏する予定。開演前に代表の部員が演奏曲の歴史や作曲家の思いなどを解説する。

初心者ばかり十一人でスタートした二〇一〇年四月

当時、楽器の種類も弦楽器のみで少なかった。今では一々四年生計五十人と増え、管楽器や打楽器などレパートリーも増えた。「この曲を演奏したい」と要望が出るようになった。

文化祭が終わった昨年九月末から定期演奏会に向け、合同で週三回、授業の合間を縫って自主的に練習している。部長の滝沢愛さん(二)は「個性豊かな部員の良さや音楽の楽しさも伝えられたら」と張り切っている。

顧問の瀬川伸教諭(三)は「クラシック音楽を純粹に楽しむ部員がここまで増えて感慨深い。決して上手とは言えないかもしれないが、音楽に真摯(まじん)に向き合う姿を見守ってほしい」と話している。当日は午後一時半開場。入場無料。問い合わせは同校へ。電0263(31)8311へ。